瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和5年7月4日（火） NO. 11 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

長崎っ子の心を見つめる教育週間始まる(その一)

「校長講話(全校道徳):7/3(月)1 校時」

7月3日(月)から、本校の「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が始まりました。そのスタートに校長による道徳の授業を行いました。

校長としては次の2つの想いで授業をしました。

① 自分の心を可視化し、心の状態を知る。逆に、心の状態を可視化することをとおして、自分の今と向き合うことが、心を見つめることであり、自己を見つめることであるということを実感させたい。

② 自己を見つめることにより、今までの、今の、これからの自分を知り、一歩進むことがこれからの充実した生き方につながるということを心の中に育む機会としたい。

授業の流れとしては、最初に、昨年度の振り返りをおこない、2，3年生には確認の、1年生には考える導入の機会としました。なぜ教育週間がスタートしたのか。そして、4つの命(有限性の命・唯一無二の命・悲喜の命・連続性の命)について話をしました。

次に本題に入りました。①「心」って、どこにあるの？(頭・胸・腹・その他) ②「心」の形って、どんな形？(丸っぽい・四角っぽい・三角っぽい・星っぽい) ③「心」の色は、どんな色？(赤っぽい・青っぽい・黄っぽい・黒っぽい) ④「心が折れる」ときの、「心」の形は？「心」の色は？「心」の状態は？という4つの質問をしました。①から③については、4択としてどれか一つを選び、番号札の前に集合整列をしてもらいました。特に、①で「その他」を選んだ生徒、②で「四角っぽい」、「星っぽい」を選んだ生徒、③で「黒っぽい」を選んだ生徒の答えは「うーん、なるほど」と思う素晴らしいものでした。それぞれ少ない人数でしたが、全校生徒の前でしっかりと自分の考えを述べてくれました。それも素晴らしかったと思います。さて、どんな答えだったかは我が子に尋ねてみてください。そして、「いつも同じ形？同じ色？」という問いを重ねました。この問いに対してはほぼ全員がいつも同じではないと考えていました。最後に「今朝(最近)の自分の心の「形」や「色」を見つめましょう。なぜ、そうイメージしましたか？考えましたか？」という問いを投げかけました。大切なもの、大切なことほど目に見えないものです。「心」もその一つです。しかし、イメージしたり、感じたりすることはできます。それが、心を見つめることであり、自分を見つめることだと思います。そしてそうすることで、より良い自分や充実した生き方につながっていくのではないでしょうかという言葉も添えました。これらを踏まえて全校生徒に授業の振り返りをしてもらいました。みんな良く考えてくれました。そこで、全員の振り返りを、今号ではまず1年生を紹介します。

○ 1年生の振り返り

・私は「心を見つめて」を聞いて、心は相手の心も自分の心も大切にしていないといけないと改めて思いました。

・心、命は、どれだけ大切なのか。命は1つあって当たり前じゃないと思いました。命を落とした人の思いはそれぞれだけど、一日一日を大切にすることが大切だと思いました。

・相手を大切にして、友達との関わり方などいろんな人と接していくことが大切だと思った。
・私の心は、みんなと同じ形や色ではなく、それぞれ違った心の形や色があると知って、確かにみんな同じ気持ちや思いをしていないので、そこを分かりあっていこうと思いました。
・今まで私は、自分の心についてあまり興味がなかったけれども、今日の道徳を聞いてこれからは、人のこともよく考えながら、自分のことも考えていきたいと思いました。
・一人一人違う意見が出ていて、「人」というものは同じではなく一人一人が違う人間なんだなと思いました。
・心は大切にしていきたいです。
・いろんな人がいろんな考えや色を持っている。一人一人の気持ち、考え、色を大切にしたい。
・心は同じ人がいないと思いました。なぜなら、一人一人楽しいと思う時と嫌と思う時は違うと思うからです。だから、共感したり、ぶつかり合うんだと思います。でも、自分の心がいつでも正しいとは限りません。なので、心を見つめることが大切だと思います。
・心はその時の気分によって色や形が変わることを改めて知りました。人によってそれぞれ考えが違うことを尊重することも大切だと分かりました。これから、その時の心の色や形を考えていくことをしていきたいと思います。
・あまり自分の心のことを考えなくて、今日、自分の心を見つめてどんな形、色なのか、良く分かりました。人の命をとるということは必ずしないようにします。
・世界に一つしかない命を奪うことは許されない。それをしたことで親なども悲しむから行動一つ一つを考えて行動するようにする。
・ぼくは自分の心を見つめて、心の形はずっと同じ形でもなく、心の色もずっと同じ色にならないと感じました。
・一人一人の無大切な命を、優しく大切にしようと思いました。
・心を見つめるとは、自分の命のことだけ考えるのではなく、相手のことをしっかり考えて行動することだと思います。
・ぼくは最近、自分の心を見つめていなかったけど、心にはいろいろな形や色があり、変わることもあるのが分かりました。これからは自分の心を見つめていきたいです。
・選んで発表するとき、自分が思ってもいないことを他の人の発表で知れた。
・自分がどんな心をしているのか分かりました。
・今までの自分のありのままを見つめて、今後自分がどのように行動するかを振り返る。人に悪口を言っていたことがある人は、自分が言われてどう思うかを考え反省する。
・ぼくは今日、「心を見つめて」をやって思ったことは、まず心はどこにあるかということがどういうことかと思いました。そして、とても難しい質問でした。そして「心が折れる」ということは、どういうことかと言われた時、友達から嫌われたりすることだと思いました。これからは、自分の心を見つめながら生活していきたいと思いました。
・自分の気分などによって心の形などが変わること。
・人の命は何があっても奪ったり、いたぶったりしないということが分かった。
・心が大切なことが分かりました。これからは心を大切にしていきます。
・自分が思っていた心の形や色、場所がみんなと違う意見でみんなの考えが少し分かりました。思い込むことも心があるからだと思いました。そして、人の意見を受け入れることも大切だと分かりました。
・いろいろな人がいろんな心があるんだと分かりました。もう一回見つめ直したいと思いました。本当の色はオレンジです。

次号では2年生の振り返りを紹介します。お楽しみにしてください。